

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】

授業者氏名	片倉 みなみ	学校名	東久留米市立第三小学校
教科（科目）・領域	道徳・総合	対象学年（人数）	5年1、2、3組（82名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2022年10月～11月（10時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：手洗いを通して世界とつながる					
2. 実践する教科・領域： 特別な教科道徳、総合的な学習の時間	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
	D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：マダガスカルの手洗いを通して、日本との違いや手洗いを普及させるための工夫を学ぶと共に、手洗いが世界共通の病気の予防方法であることを理解する。また、自分だけでなく周りの人の健康を守るために、自校において効果的な手洗いについて実践できる取り組みについて考え、行動する。					
5. 単元の 評価規準	① 知識及び技能	① 手洗いが世界共通の病気の予防方法であることが分かると共に、手洗いを普及させるための工夫を理解することができる。 ② 正しく手を洗うことも SDGs であり、自分たちの実践が目標達成のための取り組みであることに気付いている。			
	③ 思考力、判断力、表現力等	① マダガスカルと日本の生活や習慣についての共通点や相違点に気付き、表現している。 ② 自分たちが普段行っている手洗いについて振り返り、課題を明らかにし、解決するための方法を考えている。			
	③ 学びに向かう力	① 自校の手洗い改善に向けた活動において、自他の考えの良さを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。			

<p>6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】</p> <p>今の小学生は今後8年間SDGsと向き合うこととなり、持続可能な社会の創り手となることが求められている。持続可能な社会の創り手となるために、他者との違いを認めて理解する力や課題をとらえて解決する力が必要となる。本単元を通じて、異なる文化に対する寛容な態度を育むと共に、地球規模課題やSDGsに対する取り組みが他人事ではなくジブンゴトとして捉えられるようにしたい。そこで、普段の生活で実践できるものとして、日頃から行っている「手洗い」を題材として取り上げた。正しく手を洗うこともSDGsの一つであり、身近なことから取り組めることを実感させたい。また、自分たちの手洗いの課題をとらえ、その課題を解決するためにできることを考え、行動する力を養いたい。</p> <p>【児童／生徒観】</p> <p>本校の5年生はSDGsについて見聞きしたことはあるものの、これまで積極的に取り組んでおらず、国際理解教育についてもほとんど行っていない。学習の導入として、児童にとってこれらが難しいものではなく、自分たちにも取り組めるものとした。そこで今回は世界共通の病気の予防方法である手洗いを通し、自分たちの生活に反映させたい。本校児童の手洗いの課題として、新型コロナウイルス感染症の対策として以前よりも手洗いが定着してきた印象はあるものの、石けんを使っていなかったり、細部まで洗えていなかったり、最後ハンカチで手を拭かないなど効果的な手洗いについては課題がある。本校の5年生は素直で優しい児童が多いが、その一方で、自主的に考えて行動したり、自分たちから何かを発信するという経験が少ない。今回、自校全体の手洗いを改善させるための方法を考え、学校全体に発信することで、今後の活動の自信となるようにしたい。</p> <p>【教材観】</p> <p>子どもたちにとって遠い国のことをより近くに感じてもらうため、子供にとって身近な存在である教員が、自身の協力隊の経験を単元に生かすことで、地理的にも心理的にも遠いアフリカの国が近いものになると考え、今回マダガスカル共和国を題材として選んだ。また、マダガスカルで活動していたJICAボランティアが現地のスタッフと協力して作成した手洗いの啓発のための歌「sasao ny tananao (ササオニタナオ)」を通し、手洗いが病気の予防方法としてどこの国でも大切であることや問題を解決するための工夫していることが学びとなると考える。</p> <p>【指導観】</p> <p>指導にあたり、途上国の課題ばかりに注目するのではなく、途上国の良い面についても理解させたい。そのために、第1時の道徳では、自分たちとの共通点を見つけられるようにすることやマダガスカルの人たちが生活の中で工夫していることが伝わるように指導する。また、使用する映像資料についても「水道がない」「石鹸がない」といった課題に対して、既にあるものを使って工夫したり、現実的に可能な方法で課題に対してアプローチしていることを学ばせたい。さらに、今回自校における手洗いの改善に取り組んだことをきっかけに、今後自信をもって課題を探究できる態度を養いたい。</p>
7. 単元計画 (全 10 時間)	

時	ねらい	学習活動	資料など
1	マダガスカルの人々の暮らしを通して、他国の習慣を理解することの大切さを考え、国際親善に努めようとする態度を育てる。 (特別な教科道徳 C 国際理解、国際親善)	<ul style="list-style-type: none"> マダガスカルクイズを通して、マダガスカルの暮らしや産業について知る。 マダガスカルの小学生の1日について知り、自分たちとの類似点、相違点をワークシートに記入し、発表する。 他国の習慣やその国の事情を理解することがなぜ大切かを考え、表現する。 2030年までにどんな世界になってほしいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> マダガスカルの写真（自身が撮影したもの） ワークシート
2 本時	マダガスカルの手洗いを通して、手洗いが世界共通の病気の予防方法であることを理解する。 (総合的な学習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの啓発のための歌「sasao ny tananao(ササオニタナオ)」の映像を見て、自分たちが普段行っている手洗いの方法と同じ点、違う点を見つける。 物が無い場合、どのように対応していたかを見つける。 紙芝居「Vahiny tsy iraina(招かざる客)」を聞き、感想や気付いたことを発表する。 ワークシートを記入し、学習のふり返りをする。 	映像資料「sasao ny tananao」(JICA Madagascar) 紙芝居「Vahiny tsy iraina」(JICA Madagascar) <ul style="list-style-type: none"> ワークシート
3	自分たちの手洗いについて見直し、課題を把握する。 (総合的な学習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いチェッカーを使い、普段の手洗いでの洗い残し部分を知る。 普段の手洗いについて振り返り、手洗いチェックシートを記入する。 自身の手洗いの課題をワークシートに記入する。 自身の手洗いの課題と改善策を仲間に伝え、アドレスをもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート
4	マダガスカルに普及している手洗いの歌を通して、課題を解決するための方法について理解する。 (総合的な学習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 映像資料「sasao ny tananao」や紙芝居「Vany tsy iraina」を見る。 手洗いソングを作った元 JICA ボランティアに手洗いの歌ができた経緯や工夫したことなどをインタビューとしてまとめたものを聞く。 マダガスカルでの手洗いや手洗いソングが普及したポイントをつかむ。 	映像資料「sasaony tananao」(JICA Madagascar)
5～ 9	自校の手洗いの課題について解決するための方法を考え、実践する。 (総合的な学習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> 第三小学校の手洗いの課題についてグループで情報を共有する。 課題を解決するためのアイデアを考え、グループで話し合う。 アイデアの中から現実的に可能な方法を選択する。 どのように実践するか考え、準備する。 	
10	正しく手洗いすることも SDG s であり、自分たちの実践が SDG s の目標達成に向けた取り組みであったことを理解し、身近なところから課題について取り組めることに気付く。 (総合的な学習の時間)	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習のふり返りをワークシートに記入する。 	ワークシート

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料(教材)
導入 (5分)	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>○「マダガスカルはどんな国でしたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海がきれい、珍しい動植物がいる。 ・日本と同じでお米を食べる。 ・水汲みが大変。 <p>○「私たちの暮らしと似ている点もありましたが、違う点もいくつかありましたね。私たちの生活と違うところにはその国の事情などが影響していました。きれいな海や珍しい動物がいたり、日本にはない魅力がありました。しかしその一方で、家や学校に水道がなかったり、5歳未満で亡くなってしまいう子どもが多く、その原因の多くは下痢や肺炎であることも学習しました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・良い面や悪い面だけに偏ることなく、想起させる。 	スライド2～6   
展開 (30分)	<p>2 日本とマダガスカルの手洗いを比較し、相違点や類似点に気付く。</p> <p>(1) マダガスカルで普及している手洗いソング「sasao ny tananao(ササオニタナナオ)」を見て日本とマダガスカルの手洗いを比較する。</p> <p>○「今からマダガスカルで手洗いを普及させるために作られた歌『sasao ny tanano』を見ます。動画を見るポイントです。①何を使って手を洗うか。②手を洗うタイミングが自分たちと同じかどうか③手の洗い方は自分たちと同じかどうかです。」</p> <p>(2) マダガスカルの手洗い方についてワークシートに記入し、自分たちの手洗いと共通点に赤で丸をつける。</p> <p>○「自分たちが普段行っている手洗いと同じところ、違うところはどこでしたか」</p> <p>① 手洗いに使うものについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石けんを使うところが同じ。 ・水を使っているところが同じ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画をみるポイントを提示する。 ・一度で情報が収集しきれない可能性があるため、二度映像を見る。 ・ワークシートの書き方を説明する。 ・動画を見るポイント①～③の順で意見を聞く。 ・板書は同じ点と違うところがわかるようにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料「sasao ny tananao」(JICA Madagascar) ・資料2(日本語歌詞)「ごはんの前、遊んだ後、トイレの前は手を洗おう」「石けんをつけて指と爪を洗おう」 ・ワークシート 

	<ul style="list-style-type: none"> ・石けんがなかったら灰を使うところが違う。 <p>② 手を洗うタイミングについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご飯の前やトイレの後手を洗うのが同じ。 ・遊んだ後手を洗うのが同じ。 <p>③ 手の洗い方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掌や指の間を洗うのが同じ。 ・日本は肘まで洗わない。 ・洗った手を風で乾かすと言っていた。 <p>3 手洗いが病気の予防のために大切であり、これらが世界共通の方法であることに気付く。</p> <p>○「マダガスカルの手洗いと普段自分たちが行っている手洗いは、ほとんど同じだと言えそうですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通点が多いから同じだと思う。 ・洗うタイミングが一緒だから同じ。 ・マダガスカルの手洗いの方が細かい。 <p>○「自分たちが普段行っている手洗いと共通点もたくさんありましたが、違うところもいくつかありました。マダガスカルでは水道がなかったり、石けんが手に入らなかったり、ハンカチがなかったりします。物が無い場合、どうしていましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルで水道の代わりを作っていた。 ・石けんの代わりに灰を使っていた。 ・風で手を乾かしていた。 <p>○「石けんの代わりにの灰は、みんなの生活には馴染みがありませんが、炭は毒素など悪いものを吸着する働きがあります。海外ではお腹を壊した時に薬として使われたり、日本でも誤って薬をたくさん飲んでしまったときに治療で使われます。また、水道がなかったら、ティップタップを作っていました。マダガスカルでは、物がなくても工夫していることがわかると思います。」</p> <p>○「実は、この歌は日本人の JICA ボランティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出てこなかった類似点、相違点については子どもに聞きながら分類する。 <p>・同じや違うと考える理由を明らかにする。</p> <p>・物がなくても工夫している点に気付かせる。</p>	<p>スライド 7</p> 
--	---	---	---

<p>アが現地のスタッフと協力して作った歌です。 マダガスカルは家に水道がなかったり、水が出なくなることも多く、使える水は限られています。それでも、この手洗いの歌を作って手洗いを普及させようと思いました。なぜだと思いますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いが大切だから。 ・手洗いができなくて病気になると大変だから。 <p>○「もう一つ、マダガスカルの子どもたちに手洗いを教えるときに使っていた紙芝居を紹介します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居「Vahiny tsy iraina (招かざる客)」を読む。 <p>○「マダガスカルの子どもに手洗いの大切さを教えるために使っていた紙芝居ですが、紙芝居を聞いてどんな感想を持ちましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いができれば健康に過ごせる。 ・マダガスカルの人だけでなく、自分たちも同じことだと思う。 <p>4 学習のまとめ</p> <p>まとめ (10分)</p> <p>○「今日はマダガスカルの手洗いを通して、自分たちの手洗いと比べてみました。どんなことがわかりましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を洗うことが日本でもマダガスカルでも大事。 ・健康で過ごすために手を洗うことが大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水が制限されているイメージがわきやすいように、写真を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・話に出てくる「カンカナ」は回虫を指しているが、日本では馴染みがないためウイルスと置き換えて話を聞いてもらう。 ・現地で実際に使っていた写真を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いが病気の予防方法として、日本から遠く離れている国でも大事であることに気付かせる。 	<p>スライド8、9</p>  <p>資料3 紙芝居「Vahiny tsy iraina」(JICA Madagascar)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手を洗わないラクットはよくお腹を壊してしまうが、いつも手を洗うミラナは元気に過ごしている。 <p>・スライド10、11</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マダガスカルと日本の手洗いの共通点、相違点について気付き、表現している。(観察、ワークシート) ・手洗いが世界共通の病気の予防方法であることを理解している。(観察、ワークシート) 		

10. 学習方法および外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・現地のスタッフとともに手洗い啓発のための歌「sasao ny tananao」を作成した元 JICA ボランティアの方に再度この歌ができた経緯について確認した。 ・元 JICA マダガスカル事務所のボランティア調整員の方に紙芝居「Vahinytsy iraina」ができた経緯について確認した。 ・当初、1クラスで実施する予定であったが、学年と相談し学年全体として第三小学校の手洗い改善に取り組むこととした。
11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導計画を全教員に配布し、自由に参観できるようにする。 ・授業実施後に検討会を設ける。 ・児童集会で保健委員会が自分たちの活動をSDGsと関連させて発表する。

【自己評価】

12. 苦労した点	※学習活動が展開する中での苦労や、そこで見えてきた問題点を記入して下さい。
13. 改善点	※実践を再度実施することや、他の学校で追試する場合のことを想定して、改善点を示して下さい。
14. 成果が出た点	
15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	※この単元における学習者の変容が読み取れることを意識して下さい。記入者が文章記述を通して「このように変容した」と教師の言葉でその見取りを書くことも可能ですが、できる限り学習者本人の言葉や作品で示していただくことにより、具体性、説得性の高いものになります。
16. 授業者による自由記述	

参考資料：

- ・JICA Madagascar SASAO NY TANANAO（日本語字幕付き）

<https://www.youtube.com/watch?v=xRzjh7LWoc>

- ・協力隊員×人気歌手の「手洗いソング」：マダガスカルで歌い継がれ、手洗い啓発にひと役 | 2020年
度 | トピックス | ニュース - JICA

https://www.jica.go.jp/topics/2020/20200508_01.html

- ・外務省 JAPAN SDGs Action Platform

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>